

## カトリックを基にした 心の教育

県内唯一のキリスト教(カトリック)の小学校。他者を思いやり尊重することや、自分の使命を見つけること、自分は愛されている・大切にされている存在だと知ることなど、心の教育が学校活動すべてのベースになっています。宗教を教科として学び、心に一歩踏み込んで目を向ける時間を大切にしています。



祈りの言葉やたくさんの聖歌も学び、西洋の心と文化に触れます。



## ニーズに寄り添う グローバル教育

英語でも思考できる力を伸ばす「Class 国際」は、算数・理科・英語・朝や帰りの会・昼食などを英語環境で過ごします。「Class 清心」は、1年生から週2~3時間の英語の授業で、表現できる力を伸ばします。日本人の先生・ネイティブの先生と身近に関わりながら、国際感覚を肌で感じて身に付けていきます。



## 逆境をプラスに変える力をつける



## オープンスクール情報

※詳細や感染症対策のためのお願ひなどについて、必ずHPでご確認の上、ご参加ください。  
※スケジュール・実施内容は変更になる場合があります。

### 6/4 土 国際クラスの授業体験

同時開催：教育方針の紹介

時間…9:00~11:00  
対象…年中児・年長児 30名(要予約・定員に達し次第締め切り)  
内容…国際クラスの授業体験/  
本校保護者が答える「学校生活への質問」/  
国際クラス担当者による説明  
申込…HPのお問い合わせフォームから受け付け  
ご用件は「その他のお問い合わせ」を選択、  
内容欄に「授業体験希望」とご入力ください



Let's challenge to take a lesson!

参加無料

事前申込不要

入学予定のお子様も参加可能

お気軽にご参加ください。

※国際クラス体験のみ申し込みが必要です。

8/23 火

### ゆったりと夜の説明会

時間…18:00~19:20  
内容…夜のゆったりとした雰囲気を活かした説明会/  
施設見学/学校説明会/相談会



10/1 土

### 児童の英語スピーチ発表

同時開催：説明会・相談会

時間…9:10~11:30  
内容…5年生主催のふれあいタイム/  
児童による英語スピーチ発表やプレゼン、説明会  
本校保護者が答える「学校生活への質問」/  
国際クラス担当者による説明

学校法人 ノートルダム清心学園  
ノートルダム 附属小学校  
清心女子大学

☎086-252-1486

岡山市北区伊福町2-16-9  
FAX:086-252-9080

✉ seishin-hp@nds-u-e.ed.jp  
🌐 https://nds-u-e.ed.jp

清心小学校 検索



#### 《ACCESS》

- 1 JR…岡山駅(運動公園口)から北へ徒歩10分
- 2 バス…岡電バスまたは中鉄バスのいずれかで「済生会病院前」下車すぐ



## しなやかな子どもたちの成長のため 柔軟に対応する温かな学園



校長 西 弘子先生



(写真上)大学の先生を招いたスーパー授業は子どもたちの「もっと学びたい!」気持ちを刺激します。  
(写真下)「能楽体験」の一場面。能楽師の話を聞き、本物のお面を手にとって日本文化を深く学びます。



伝統と革新が調和して  
ひとつの家族のような小学校

どんな時も子どもファースト  
工夫と対策で学校行事を実施

創立55周年を迎えたノートルダム清心女子大学附属小学校。その伝統で育まれたグローバル感覚の育成や充実の英語教育などは連続と受け継ぎながら、既存の制度を少しずつ革新して近年の教育ニーズを的確に満たし、卒業生・在校生の保護者から高い支持を集めています。

昨年度からはイマージョン教育を発展させた「クラス国際」と、日本語で授業する「クラス清心」の2クラスを展開。クラス別の特長は生かしながら、2クラス3人の担任の先生が協力し合って1学年全員の教育に当たり、英語力や語学力の伸長に寄与しています。

また、お昼のお弁当はインターネットで注文ができた、学校が休みの日も預かり保育を実施するなど、共働き家庭が通わせやすい工夫も。

「使命」に従った進学先を選択するため、学習塾と連携した放課後授業や進学相談会を実施するなど、中学受験準備対策が充実しています。細やかに公平に対応する学校と、素直でやさしい子どもたちとその保護者は、ひとつの家族のようにつながり、厚い信頼で結ばれている様子がうかがえます。

同校では子どもたちの世界を広げるための外部講師を招いたスーパー授業を頻繁に実施しています。昨年度は日帰りの活動を3度にわたって実施し、今年度はついに宿泊を伴って開催しました。

西校長は「その時にしかできない学びや感動があります。迷いもありましたし、保護者の方や先生方には膨大な準備と対策をお願いしましたが子どもたちは大人の想像を超えた成長を見せてくれました」と微笑みます。

本物に触れることや体験から得られる学びを大切にしているそう。どんな状況でも、学校行事は一律中止ではなく、実施のための工夫を凝らしています。

「あらゆる規制や制限の中で、思い切って変えたらかえって良くなったこともたくさんあります。逆境を受け止めてプラスに変える考え方は、カトリックのDNA。子どもたちはコロナ禍で改めて読書の喜びを発見したり、先生や親への感謝の言葉を自然と口にしたたり、ICT機器を駆使したりと、大人の背中と学園の姿勢を見て、自らをしなやかに成長させています。